

(別添3)

【川越市】
校務DX計画

1 現状

(1) 「GIGAスクール構想の下でのDX化チェックリスト」結果

令和5年度に実施した「GIGAスクール構想の下でのDX化チェックリスト」において各校で「完全にデジタル化」と回答した学校の割合は以下の通りである。

項目	割合	全国平均より市平均が低い
① 教員と保護者間の連絡のデジタル化		
欠席・遅刻・早退連絡	57%	
お便りの配信	4%	○
調査・アンケートの実施	24%	
② 学校内の連絡のデジタル化		
校内での資料共有	30%	
校内での情報共有	65%	○
調査・アンケートの実施	33%	
③ 教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化		
各種連絡の廃止	4%	
調査・アンケートの実施	13%	
④ その他		
FAXの原則廃止	2%	○
押印・署名の原則廃止	13%	

(2) 「GIGAスクール構想の下での校務DXについて

～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」との比較

令和4年度に示された実施した「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」(GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議)において示された次世代の校務のあり方と本市の状況を相違点は以下の通りである。

項目	本市の状況	専門家会議提言
ネットワーク	総合行政ネットワーク (LGWAN接続系)	インターネット
セキュリティ	3層分離	いわゆるゼロトラストの考え方に基づいたアクセス制御型セキュリティ
クラウド	プライベートクラウド	パブリッククラウド

端末	校務系・学習系の2台体制	校務系・学習系の統合による1台化
使用箇所	職員室の有線環境限定	テレワークを含め、場所の制限なし
導入目的	帳票のデジタル化	働き方改革 データ連携基盤 大規模災害等へのレジリエンス

2 課題及びその対応

現状に見られる課題及びその対応策は以下の通りである。

(1) 教員と保護者間の連絡

令和6年10月より、学校・保護者間の連絡のデジタル化を目的とし、保護者連絡ツールを導入した。今後はお便り等についてもアプリケーション上での配布を実施していく。

(2) 学校内の連絡のデジタル化

令和5年6月より学習者用コンピュータのチャット機能を開放し、情報共有時の活用を促している。具体的な活用事例を含め、使用方法についても周知していく。

(3) FAXの原則廃止

FAXについては、現在、訃報連絡や学校運営の支障報告で活用している。今後は、緊急連絡やネットワークの不具合時など、電子メールよりもFAXのほうが効率的な場合を除き、校務系ネットワーク上でのやりとりの可否を検討し、見直しに向けて取り組んでいく。

3 今後の想定

現行の校務支援システムの更新時期を踏まえ、校務系データと学習系データの連携を容易にし、積極的なクラウドサービスの活用を可能とする校務支援システムのクラウド化に向けて、セキュリティや最適なシステム構成の検討を進める。検討においては、特に不合理な手入力作業や押印等について廃止に向け検証する。